

平和

健康

暮らし

介護

みんなの

健康

安心のネットワーク

発行

郡山医療生活協同組合

郡山市島2-9-18 TEL 024-923-6212 FAX 024-923-6921

発行責任者 坪井正夫

郡山医療生協ホームページアドレス
<http://www.koriyama-h-coop.or.jp/>

2025年8月31日現在	
●組合員数	21,300名
●出資金	871,749千円
●1組合員平均	40,927円



食と農の未来は(郡山西部ブロック)



健康まつり(郡山中央ブロック)



収穫祭で美味しく
(安達郡ブロック)



白河歴史探訪(1支部)



あぶくま洞で交流会(田村ブロック)



みんなで楽しくおしゃべり



スクエアステップで
健康づくり(すぎな支部)



輪になって楽しく交流(白河支部)

お元気ですか。
長かった酷暑から解放さ
れ秋へ。チャレンジしてみま
せんか。あなたの近くに郡山
医療生協があり、つながる、
語る、共に学びあう場が
あります！

- 持続可能な組織をつくるため
の、組合員ふやし、出資金増資
運動に取り組みましょう
- 仲間ふやし
540人(年度目標の6割)
- 出資金増資
52,000千円(年度目標の8割)
- 増資協力者数
各支部組合員数の5〜10%をめざす

- 情勢を学び、いのちと暮らしを
守る運動をすすめましょう
- 「地域住民の医療を受ける権利を
保障するために医療機関の維持
存続への支援を求める請願署名」
に取り組む
- 署名目標 5,000筆
- 職員が地域の活動への参加を促進
し、組合員との協力の力を高め
ましょう

- 新しい班をつくり、班活動で仲間
の輪を広げましょう
- 班づくり各支部1班以上(3人寄
れば班ができます)

生協をより大きくするために
ふれあい月間を成功させま
しょう

安心して医療と
くらしを守ろう！

ふれあい月間

(9月29日〜11月30日)

社会保障・平和活動委員会より

戦後 80年 平和について考える
「祈る平和からつくる平和へ」平和展開催！

戦争の悲惨さや、平和の大切さを次世代に伝えとともに、組合員や職員、そして多くの市民が平和について考えるきっかけをつくることを目的に8月2日(土)～3日(日)に平和展が開催され、両日で126人が参加しました。



原水爆禁止世界大会 in 長崎に参加！

8月6日(水)～9日(土)に長崎で開催された原水禁世界大会に郡山医療生活協同組合(白河支部)・車田芳江さん(さくら支部)の組合員2名、小林良太さん(介護福祉士)・佐藤那月さん(看護師)の職員2名が参加し、福島県からは27名が参加しました。

被爆から80年を迎え「核兵器の非人道性を告発し、廃絶を強く訴えること、被爆者の声と願いを受け継ぎ、核抑止論を拒否し、核兵器禁止条約の批准を日本政府に求めること」を確認しました。

被爆経験者が年々少なくなる中で、「今回の訪問で学んだことを次世代の方々に継承していきたい」「被爆の実相を聞き、今も被爆者として認定されない人がいることがわかった」「私たちが声をあげて活動することが大事」など感想が寄せられました。

※代表派遣のためのカンパが2008,481円寄せられました。ご協力ありがとうございました。



介護保険事業部より

介護になっても安心

介護や支援が必要になったときは、
1人で抱え込まず【桑野介護保険センター】に連絡を

- 要介護1～5の認定を受けた方のケアプランをつくっています。
- 利用者様やご家族様からのさまざまな相談を受け、外部機関とも連携をとりながらサポートしています。
- ヤングケアラー・虐待等の研修や学習会に参加し、ケアマネージャーとしてのスキルアップにも力を入れています。

経験豊かな9名のケアマネージャーが利用者様、ご家族様に寄り添い介護の負担や不安を少しでも減らすことができるよう一緒に考えていきます。



お問合せ先

桑野介護保険センター 電話 024-923-6165

2025年私たちの平和宣言

日本国憲法は、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、主権が国民にあることを宣言し生まれました。

そして唯一の被爆国として核兵器のない平和な世界の実現こそが私たちの共通の願いです。

戦後80年、私たちは平和を願う伝承者として、次世代へそのバトンを繋ぎ、子どもたちが夢や希望を抱ける未来を築くために歩み続けます。

私たちは互いに思いやりを持ち、一人ひとりの言葉で話し合い、意見の違いを乗り越え、対話と交流を深め、平和文化をつくり、世界中に信頼の輪を広げます。

“健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。”の理念のもと、日本国憲法の平和精神にのっとり、人類の恒久平和を確立するために努力することをここに宣言します。



2025年 8月

郡山医療生活協同組合

桑野協立病院インフォメーション

感染症に注意

現在も「インフルエンザ」や「新型コロナウイルス感染症」が流行しています。他にも「百日咳」は例年の同時期と比べ、かなり多い状況となっています。また、野外活動が増える時期ですので「マダニ」にも注意していきましょう。今回はそれぞれの予防方法についてお伝えします！

インフルエンザ・コロナ

- ① 手洗いうがい ② マスクの着用 ③ こまめな換気
- ④ 十分な休養 などの基本的な感染予防が必要です。

百日咳

激しい咳発作を特徴とする急性の気道感染症です。子どもの病気というイメージがありましたが、近年はワクチンの効果が薄れてきた大人にも感染が広がっています。

予防は、

- ① 追加のワクチンを接種 ② 手洗いうがい ③ 咳エチケット
- ④ アルコール消毒が有効なため手が触れる場所をこまめに消毒しましょう。

マダニ

マダニは、野山や草むらに生息する吸血性のダニで、人や動物の血を吸います。吸血時に唾液を介してウイルスや細菌を体内に送り込むことで、感染症を引き起こす可能性があり、全国的に死亡例も出ています。

予防は、

- ① 長袖長ズボンで肌の露出を避ける
- ② 野外ではなるべく草むらに寝転ばない・座らないことを心がけましょう。



(桑野協立病院看護部 保健活動委員会)

お問合せ先

桑野協立病院 電話 024-933-5422

生き生き組合員活動！

朝日が丘支部 健康学習会

1月に着任された西村有史先生の講演会を開催。これまでの医療活動や東日本大震災の支援活動から「最後は福島で仕事がしたい」との思いで桑野協立病院へ着任。また、先生の専門分野である脳卒中、高血圧、循環器関係はもちろん、桑野協立病院の魅力でもある訪問診療も頑張っているなど多岐にわたるお話を伺うことができました。



新班紹介「ことり班」(富久山支部)

班長：斎藤良江さん

月1回、スクエアステップで健康づくりと頭の体操にと60代から80代のメンバー9名で結成。和気あいあいと楽しく健康づくりに励んでいます。今後は支部の活動に参加したり医療や介護についても学んだりしたいと思っています。



安積支部 ありがとうの集い

7月に機関紙配付協力者の交流会を行いました。十数年ぶりの開催でしたが20名が参加して、歌ったり体操したり、最後は風船バレーで大いに盛り上がりました。笑顔で配付して下さる皆さんに心から感謝です！安積町は広いので、新しい配付協力者を募集中です。



中央ブロック主催 高橋里実先生講演会

4月に着任された高橋里実先生は数少ない漢方内科専門医です。今回「こんな時に漢方を」の医療講演会を開催し、40名が参加。先生からは漢方薬の効果や副作用、受診方法などを聞きました。漢方薬には興味関心が高く、皆さん熱心に聞き入っていました。



◆お褒めの言葉をいただきありがとうございます。コロナ禍では面会制限がありご不便をおかけしておりましたが、5月7日から面会日時を拡大して対応しております。今後も病棟及び看護部全体で共有し、患者さま、ご家族さまに寄り添った対応を誰も

○大変お世話になってます。面会の日時、拡大して頂き感謝です。○○○(職員氏名)さんという看護師さん、いつも温かくして頂き感謝です。



事業所利用委員会より

◆不快な思いをさせてしまい、大変に申し訳ございません。水調子を整え、設定を「強」に調整しました。トイレの水状態に改善いたしました。

○検査室前女子トイレの水調子が悪い。早く修理してください。いつも前の人が流したものが残っています。気分が良くありません。

ができるように接遇向上に努めてまいります。

保健活動委員会より

スクエアステップリーダーが誕生しました！

7月29～30日の2日間、スクエアステップ協会から講師を招き「スクエアステップリーダー養成講習会」を開催し、18名が参加しました。スクエアステップの効果などの理論、実技、教室の進め方に加え、新しい脳トレ運動「マツス」まで、盛りだくさんの内容を学びました。参加者は笑顔が絶えず、和やかな雰囲気の中で楽しみながら知識と技術を身につけていました。

全員がリーダーに認定され、これから地域での活躍が期待されます。



お問合せ先 組織部 電話 024-923-6212

読者からの声

◆虹の箱がある病院すてきなあと感じます。イライラするコメントもあるかと思いますが読んでいて納得する事もあります。大変かと思いますが投書していない人も沢山理解していると思うので、これからも続けてほしいと思います。

(49歳女性 東原)

◆みんなの健康を毎回楽しみに

しております。おすすめ料理を時々つくっています。今度新しいドクターがいらして下さり本当に良かったですね。楽しみにしております。

(79歳女性 島)

◆限られた紙面の中でオールカラー刷りという創意工夫がみられ素晴らしいと思っています。スタッフ皆様に感謝を申し上げます。

(85歳男性 安原町)

みんなの健康クイズ



問題

戦後80年。郡山医療生協は何を宣言したでしょうか？

答え：「○○○○○」

※答えは紙面のどこかにありますよー

○に入る答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・紙面の感想・近況(掲載させて頂く場合があります)などを、ハガキまたはGoogleフォームでどしどしご応募ください。正解者の中から抽選で記念品を差し上げます。

《 締切 》 2025年11月30日 消印有効

スマホからも応募
できるようになりました。
Googleフォーム



宛先

〒963-8034 郡山市島二丁目9-18
郡山医療生活協同組合 組織部 みんなの健康クイズ係 宛

前回のみんなの健康クイズの答えは「13」でした。



郡山医療生協や桑野協立病院からの情報をお届けしています。ぜひ、友達登録、フォローをお願いします。(掲載内容は全て同じ)

《お問合せ先》組織部
電話 024-923-6212



私の

おすすめ料理

管理栄養士 増子 清子

低カロリーで栄養豊富な食品・きのこを使って

きのこのマリネ

マリネとして食べてもよし、肉料理や魚料理のソースがわりにかけて食べても美味しい一品です。

材料(2人分)

リンゴ酢 ……大さじ1
(米酢の場合は砂糖を加え調整)
塩 ……小さじ1/3
パセリ(みじん切り) ……適量

好みのきのこ(シメジ、舞茸、生しいたけなど) ……合わせて350g
トマト ……1個(150g)
オリーブ油 ……大さじ2



作り方

① きのこは石づきや根元を切り落とし、ひと口大に切るか、ちぎる。トマトは1cm角に切る。

② フライパンにオリーブ油大さじ2を中火で熱し、きのこを炒める。油がなじんだらリンゴ酢、塩小さじ1/3を加えてふたをし、弱火にして5分間煮る。トマトを加えて火を止め、食べる直前にパセリをふる。

※保存は冷蔵庫で2日～3日間



今年度、医療生協の新理事になった会田さんに、約50年間看護師として歩んできた話を聞きました。

会田さんは三穂田町生まれ。中学生の時に、茅ヶ崎で看護師として働く従姉妹の都会的な姿に憧れを抱き、「私も看護師になりたい!」と高校卒業後、川崎准看護学校に入学。5年間働きながら勉強し念願の看護師に。資格取得後、実家に戻った会田さんは父親が手術で入院していた国立郡山病院の雰囲気が入り「ここで働きたい」と就職を希望。その後、国家公務員の看護師として従事できるようになりました。当時、『看護師一人の夜勤ではなく複数夜勤に』と看護師を増やす運動がある中で、労働

虹をかける

いつでも一生懸命!

あいた 会田 タケノさん(西田町)

組合(全医労連)を知り「遠慮しないで自分の思いを言えるんだ。全国に仲間がいる。凄いなあ!」と目から鱗が落ちる思い。「労働組合に出会ったことは自分の人生にプラスになった」とはつきり話す姿に人間としての強さを感じました。

だから俺らもやろう!」と郡山市内の町内会連合会でも回覧板で訴えてくれ、ついに集めた10万名の署名、1,300名の県民大集会で訴え国会への要請活動など精力的に行いました。しかし、17年後に統廃合が決定。独立行政法人国立病院機構福島病院(須賀川市)へ統合になった時は退職を考えたとのこと。しかし運動を支えてくれた人から「辞めるのは無責任。これからの職場づくりをしな」との叱咤激励に思い止まり、泣いたり笑ったり怒りをぶつけたりしながら17年間活動できたことは運動として成功だったとも思えるようになりました。

様々な困難や問題に立ち

編集後記

今年は戦後80年。例年より戦争を深掘りしたテレビ番組や平和展に数多く出会った。戦地での悲惨な戦い、特攻隊員の胸の内などなど。改めて平和の尊さを痛感。同時に夏の参議院選挙で国家主義や果ては核武装まで言い出す勢力の台頭に危機感を持った。平和維持の想いを込めた「2025年私たちの平和宣言」を胸に刻みたい。(K)

向かい忙しく活動していた時に夫から「どっちが大事なんだ?」と文句を言われたが、「お父さんも大事。組合も大事。両方とも大事!」と。また、どんな時も味方をしてくれる子ども達からも力をもらい、自分が納得のいく行動をしたいという思いで乗り越えてきました。定年退職後は西田町の介護施設で5年間、桑野協立病院で7年間看護師として仕事をしてきました。いろいろな思いを抱えながら一生懸命に生きてきた会田さんに強く尊敬の念を抱きます。リーダーシップがあり、真つ直ぐで明るく頼りがいのある魅力いっぱいの方にたくさんの方の元気をもらいました。(星野、國分)

組合員送迎バスの変更について

組合員を対象として桑野協立病院の通院を支援する組合員送迎バスにつきまして、10月1日より、運行方法を一部変更いたします。

① 利用日の「1週間前までの予約が必須」となります。

これまで同様、曜日毎に決められた方面を運行することには変わりありません。ご予約、および新規利用希望の方は、下記の問合せ先までご連絡ください。

② 利用時には1口1,000円以上の増資をお願いします。

物価高騰の中、組合員送迎バスの運行を維持するため、ご協力をお願いいたします。

《お問合せ》 郡山医療生協 組織部
電話 024-923-6212

医療生協の法律相談

カスタマーハラスメントについて

Q 言葉をよく耳にします。クレームとの違いや、カスハラの具体的な場面を通して私たちが気を付けることなどを教えてください。

A クレームとはもともと「claim」要求する、主張する」という意味で、クレマーなどに代表されるようなネガティブな意味はありませんでした。ただ、現在日本で使われる「クレーム」という意味は、不当な要求という意味で使われることが多く、その意味でカスハラと変わらなくなっています。

カスハラとは、主に顧客(カスター)と業者との間で、顧客からのクレームや要求のうち、社会通念上相当な範囲を超えた言動により、業者側の労働者の就業環境が害されるものをいいます。とされています。問題となるのは、「社会通念上相当な範囲を超えた」と言えるのかどうかです。厚労省は具体例として、身体的な傷害(暴行・傷害)、精神的な攻撃(脅迫、中傷、名誉棄損、侮辱、暴言)、威圧的な言動、土下座の要求、継続的な執拗な言動、拘束的な言動(不退居、居座り、監禁)、差別的な言動、性的な言動、従業員個人への要求や攻撃などをあげています。また、商品交換の要求や金銭補償の要求、謝罪の要求も場合によっては該当する可能性があります。

「お客様は神様」という考えのもとで、顧客からの要求を無批判に受け容れることを続けていると、顧客側の要求はエスカレートすることがあります。顧客を大切にすることも大事ですが、従業員を守ることも同様に大事なことです。顧客からの不当な要求については、毅然とした対応をとることが求められます。

弁護士法人けやき法律事務所
弁護士 武村 陽

医療生協では、無料法律相談を毎月第2水曜日に行っています(夕方4時から)。ご希望の方はご予約ください。
組織部 024(6263)9212

郡山医療生協事業所のご案内	桑野協立病院 933-5422	サービス付高齢者住宅「なのはな」 953-4005	ふれあいデイサービスセンター 923-6219
	アイメイトくわの 923-6166	定期巡回随時対応型訪問看護事業所なのはな 953-4005	桑の実デイサービスセンター 923-6219
	桑野介護保険センター 923-6165	デイサービスセンターなのはな 953-4006	桑野協立病院通所リハビリテーション 923-6275
	桑野訪問看護ステーション 923-6174	グループホームひなたぼっこ 983-6147	桑野協立病院訪問リハビリテーション 933-5422
	ひまわりの家デイサービスセンター 943-1061	小規模多機能居宅介護ひなたぼっこ 983-6147	

※事業所の電話の市外局番はいずれも(024)